

平成30年度
一般会計予算額

54億6082万3千円

平成30年度当初予算が、第1回議会定例会で可決され成立しました。

一般会計の予算総額は、54億6082万3千円で、29年度と比較して6億4622万3千円(13.4%)の増となりました。今年度の当初予算編成に当たっては、行財政改革に継続して取り組むとともに、歳入面においては、町税等の自主財源の確保に努め、国・県支出金、交付税措置のある地方債の活用、受益者負担の適正化等による財源の確保を図ります。また、歳出面においても、昨年度にも増して更に徹底した整理合理化と経費の節減、見直しを行い、町民の生活基盤の整備、農業振興に資する各種施策、町民福祉の向上等への重点的かつ効率的な施策を推進します。

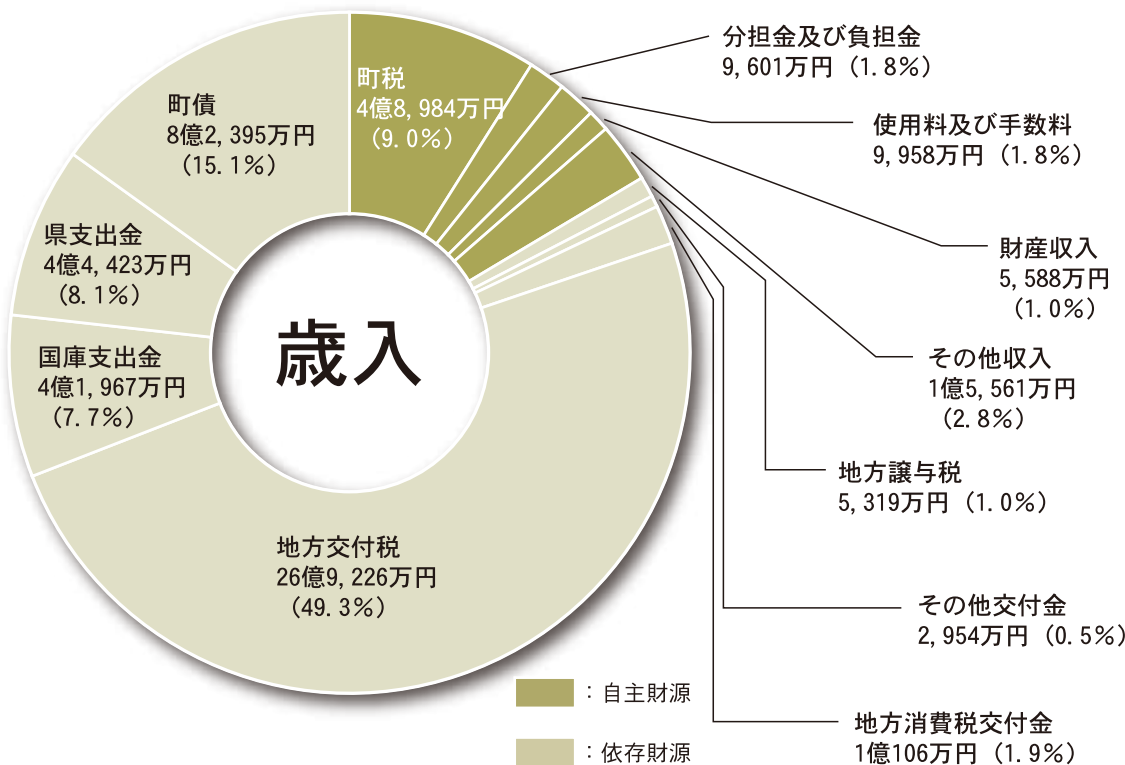
歳入

自主財源の確保と受益者負担の適正化等による財源の確保

自主財源は、歳入予算の16.4%、対前年度比2690万円、3.1%の増となっています。これは、主に町税(主にふるさとまちづくり寄附金)2500万円の増額等を計上したことによりま

す。依存財源は、歳入予算の83.6%、対前年度比6億1932万3千円、15.7%の増となっています。これは、

主に国庫支出金(社会資本整備総合交付金、給食センター建設工事費国庫交付金の増等)1億751万7千円、町債(消防車両整備事業債、知名C団地整備事業債、学校給食センター整備事業費債等の増等)4億4774万4千円等の増額を計上したことによりま



用語説明

【歳入】

- 分担金及び負担金** ・受益者が負担するお金(保育料など)
- 繰入金** ・基金や特別会計からの収入金
- 地方譲与税** ・自動車重量税等の一部が、町の道路の長さや面積等の状況に応じて国から交付されます。
- 地方交付税** ・国税の一部から、町の財政状況に応じて交付されるお金
- 町債** ・国や銀行などからの借入金

【歳出】

- 性質別分類** ・経済的性質を基準とした分類。このほか、総務費や議会費などを基準とした目的別分類がある。
- 扶助費** ・法に基づき高齢者や子供、障がい者などに給付されるお金。
- 公債費** ・借り入れた町債を返済する経費